

第20期
中間

株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

株主の皆さんには、平素より株式会社かんぽ生命保険に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役兼代表執行役社長

久垣邦夫

2025年度中間期の連結業績は、運用環境の好転による順ざやの増加等により、修正利益^{*1}が前年同期比+107億円の950億円となりました。好調な業績等を踏まえ、修正利益の通期連結業績予想を1,420億円程度から1,620億円程度(+200億円程度)に上方修正するとともに、追加の株主還元策として、450億円を上限とする自己株式取得を実施することとしました。

中間配当についても、前年度から10円増配となる1株当たり62円とし、年間配当については、期末配当と合わせて、1株当たり124円を予定しております。

2021年に公表した中期経営計画の最終年度となる2025年度は、次期中期経営計画の土台となる重要な年と認識しており、デジタルを活用したお客様との接点強化などの保険サービスの拡充に加え、大和証券グループと三井物産株式会社(以下「三井物産」)とのオルタナティブ資産運用分野における資本業務提携、インパクト志向の投融資拡大を目的とした「インパクト“K”プロジェクト」等を通じた資産運用力の深化・進化に取り組んでおります。

また、KKR & Co. Inc. (以下「KKR」) の子会社である



Global Atlantic Financial Group(以下「Global Atlantic」)が新たに運用する再保険ビーカー^{*2}への20億米ドルの投資を決定するなど、成長領域からの収益獲得を目指した取り組みも着実に進展しております。

そして、来年度からスタートする次期中期経営計画では、全国のお客さまに「安心」をお届けすることで、「信頼感、親近感No.1」の生命保険会社を目指し、チャネル特性に応じた「営業態勢の確立」、収益向上と社会への貢献を両立する「資産運用力の強化」、出資先・提携パートナーとの協業による収益源の多様化などの「みらいへの挑戦」という、成長戦略における3つの柱に取り組んでまいります。

引き続き、企業価値の向上と株主の皆さまへの安定的な利益還元を図ってまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

*1 新契約の初年度に係る標準責任準備金負担による影響およびのれん償却による影響を調整するための当社独自の指標であり、連結当期純利益に「責任準備金の調整額(税引後)」およびのれん償却額を加算したもの

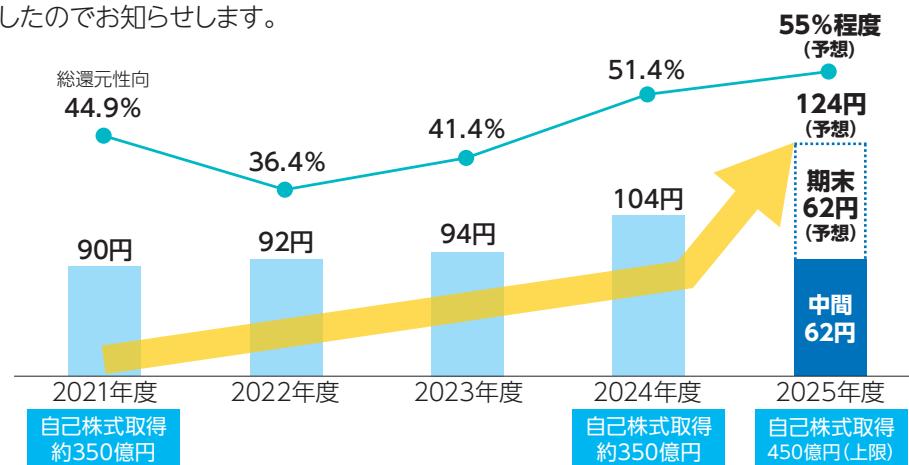
*2 再保険会社が大規模な再保険取引の機会を捉えるため、投資家から資本調達を行う手段として設立する組織のこと

株主還元

2025年11月14日開催の取締役会において、1株当たり62円の中間配当金を支払うことおよび450億円(上限)の自己株式取得を行うことを決議いたしましたのでお知らせします。

中間配当
62円 10円増 (前年同期比)
期末配当予想
62円 10円増 (前年同期比)

自己株式取得
450億円 (上限)



かんぽ生命の2025年

通年 保険サービスの拡充

デジタルを活用したお客さまとの接点強化

全国に広がる郵便局ネットワークを活用した対面のあたたかみのあるコミュニケーションを大切にしつつ、お客さまのライフスタイルやご希望に応じて、デジタル（非対面）でのコミュニケーションも取り入れております。

2025年度からは、“ALLかんぽ”でのアフターフォローの一環として、メールやLINEなどのデジタル接点を増大し、すべてのお客さまと年に1回のコンタクトを実現してまいります。また、AIを活用し、お客さまの潜在ニーズの把握およびお客さまに合わせたサービスのご提供・ご提案につなげてまいります。



1月

3月 資産運用力の強化

大和証券グループおよび三井物産との資本業務提携

これまでも大和証券グループや三井物産との提携を通じて資産運用力の強化を推進してまいりましたが、この取り組みを発展させ、2025年3月にオルタナティブ資産運用分野における資本業務提携を開始いたしました。

投資家のオルタナティブ資産運用への関心は年々高まっており、本提携を通じてアセットマネジメントビジネスにおける収益拡大や、運用態勢・人材ポートフォリオの高度化を目指してまいります。



2月

3月

4月

5月

● 期末決算発表

6月

● 株主総会 ● 第19期 期末配当実施

7月

7月 保険サービスの拡充

「かんぽアプリ」のサービス開始

皆さまの健康増進やお客さまの各種保険お手続きの更なる利便性向上を目的に、健康応援アプリ「すこやかんぽ」をリニューアルして、2025年7月より「かんぽアプリ」のサービスを開始いたしました。

「かんぽアプリ」を通じて、気軽に健康づくりができるコンテンツをご提供するとともに、お客さまサポート機能として、ご契約内容の確認・担当者へのお問い合わせ・各種保険に関するお手続きができるようになりました。

今後も、より便利に使っていただけるよう、健康増進を応援するサービスメニューの追加や、お客さまサポート機能の充実に取り組んでまいります。



「かんぽアプリ」は無料でご利用いただけます。



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play

※ AppleとAppleのロゴとApp Storeは、Apple Inc.の商標
※ Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標

7月

- 一時払終身保険
保険料率改定
- 統合報告書
発行

8月

- 1000万人
ラジオ体操・
みんなの体操祭
in 広島

9月

- 新CM放送
開始

11月

- 「ラジオ体操
アプリ」の
サービス開始
- 中間決算発表

12月

- 第20期
中間配当実施

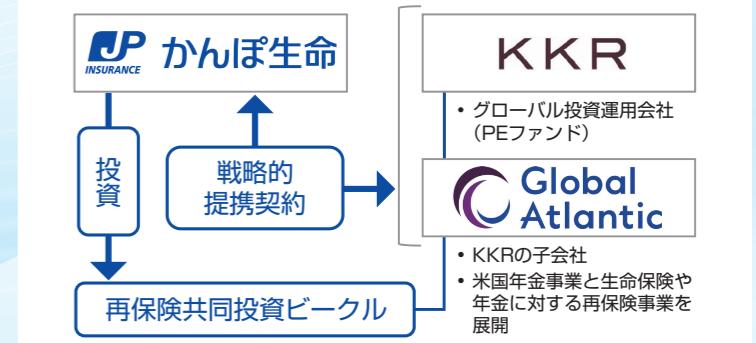
7月

7月 海外保険市場からの収益獲得

KKRおよびGlobal Atlanticとの戦略的提携の推進

世界有数の資産運用会社であるKKRとその子会社Global Atlanticとの戦略的提携の一環として、2025年7月にGlobal Atlanticが新たに運用する再保険ビーグルへの20億米ドルの投資を決定いたしました（必要な認可等を取得した上で、2026年前半までに運用開始を予定）。

KKRおよびGlobal Atlanticが有する事業の基盤を活用することで、堅調な海外保険市場からの収益獲得を推進し、収益源の多様化につなげてまいります。



8月

8月 保険サービスの拡充

ペーパーレスで簡単・迅速なお手続きの拡大

2025年8月に「かんぽデジタル手続きシステム」を全国の郵便局窓口へ導入を拡大し、ご契約内容の変更、保険金の請求等の各種お手続きにおいて記入が必要であった請求書のペーパーレス化が実現したこと、お客さまのご負担を軽減するとともにお手続き時間の短縮につながっています。さらに、最短で翌営業日に保険金をお受け取りいただけるなど、利便性が大幅に向上いたしました。

今後も、より多くのお客さまにデジタルの利便性を活かしたサービスを提供してまいります。

お手続き時間

従来のお手続き

約50分

かんぽデジタル
手続きシステム

約17分

約3分の1に短縮

保険金のお受け取りまでの日数

従来のお手続き

かんぽデジタル手続きシステム

3営業日以降

翌々営業日
翌営業日

すべて3営業日以降

約80%が翌々営業日までのお受け取り

10月 保険サービスの拡充

電話で完結する入院・手術保険金等請求受付サービスの開始

2025年10月から、退院後や治療中で郵便局窓口でのお手続きが困難なお客さまでも、かんぽコールセンターにご連絡いただき、ご案内に沿って、スマートフォンで撮影した医療機関発行の書類を専用Webサイトにデータでご提出いただくことで、お手続きが完了するサービスを開始いたしました。

かんぽコールセンターに 電話で連絡



スマートフォンで書類を 撮影・アップロード



請求完了 後日保険金を受取



決算ハイライト

新契約件数（個人保険）

24万件 (前年同期比△52.3%)

新契約年換算保険料（個人保険）

566億円 (前年同期比△49.9%)

保有契約件数（個人保険）^{*1}

1,821万件 (前期末比△3.1%)

保有契約年換算保険料（個人保険）^{*1}

2兆7,576億円 (前期末比△3.4%)

親会社株主に帰属する中間純利益

938億円 (前年同期比+49.3%)

修正利益^{*2}

950億円 (前年同期比+12.8%)

*1 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を含む

*2 新契約の初年度に係る標準責任準備金負担による影響およびのれん償却による影響を調整するための当社独自の指標であり、連結当期純利益に「責任準備金の調整額（税引後）」およびのれん償却額を加算したもの

社会課題の解決と持続的な社会の実現

産学連携の推進

アカデミアでの学術研究は、社会課題の解決に寄与するテクノロジー創出が期待され、日本の持続的な社会構造形成や経済成長に不可欠です。大学との連携を通じた中長期的な投資成果の向上と持続可能な社会の実現を目指し、2025年には新たに3つの大学法人等と覚書・協定を締結いたしました。

これらの連携では、インパクト投資ファンドの組成、未来を担う学生・子どもたちへの金融教育の実施、お客さまの生活に寄り添う新しいサービスなど、互いの強みを活かした連携事業の可能性を多角的に検討しております。今後も産学連携を通じて新たな価値創造を目指してまいります。

覚書等締結先（2025年9月末時点）



慶應義塾
Keio University



大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA



UTokyo
RITSUMEIKAN



WASEDA University
早稲田大学



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

大学での出張講義の様子



代表的なESG投資指数である「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」に選定

米国MSCI社が開発するESG投資の代表的な指数である「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」に新たに選定されました。

本指数は、ESGの観点で高い評価を受けた企業で構成されており、世界最大規模の年金運用機関であるGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用しているESG指数です。今回の選定により、GPIFが採用する6つの国内株ESG指数すべてに選ばれております。（2025年9月末時点）



GIIN(Global Impact Investing Network)日本会合における当社役員の共同議長への就任

国内の生命保険会社として初めて、インパクト投資の国際的なネットワークGIINに加盟し、グローバルな議論から最新の知見や潮流を取り入れてまいりました。2025年に発足したGIIN日本会合には、当社執行役・野村裕之が共同議長に就任しております。今後も責任ある機関投資家として日本のインパクト投資の発展に貢献してまいります。



執行役 野村 裕之